HIOKI 海の森プロジェクト



■HIOKIのサステナビリティ活動

HIOKIは企業理念に基づき、持続可能な社会への貢献 を経営方針に含めて実践してきました。

新たな挑戦として、未来を担う子どもたちとともに 海の環境保全活動に取り組みます。

サステナビリティ基本方針

「人間性の尊重」「社会への貢献」という理念のもと、 事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。









■どうして海の森?

藻場などのCO2 吸収源となる海洋生態系は、

「ブルーカーボン」として注目されています。気候変動により その生態系は減少しており、本プロジェクトでは「アマモ場」 の再生に向けてHIOKIができることを考え、実践していきます。

浅瀬に生息する海洋植物

二酸化炭素の吸収だけでなく、生物の成育場 としての役割を持つことから

「海のゆりかご」、「CO2削減の切り札」 とも呼ばれています。



■本プロジェクトのパートナー



和歌山高専 楠部真崇 教授 海洋生態系の専門家 アマモ場の再生に向け、 様々な研究をされています。



日置中学校 日置電機

和歌山県 白浜町立 日置中学校

ひき

日置(ひき)の魅力を発信すべく、生徒自 ら取材・編集を行ったフリーマガジン 『ひきよせ』を発行しています。 クラウドファンディングの活用も話題に!

ひおき



■これまでの歩み

2023年10月、白浜町教育委員会、白浜町立日置(ひき)中学校と連携し「学びのコンソーシアム・海の森プロジェクト」を開始しまし た。HIOKI社員による環境共育をはじめ、生徒とのディスカッションを通じて、さまざまな条件下でアマモの育苗実験を進めています。









これからも つづく・・・











程過観察中

GENNECT水槽



GENNECT Cloud ータモニタリング



GENNECT Remote データ収集



各種測定器 水温、照度、消費電力など HIOKI、日置中学校、和歌山高専に GENNECT水槽を設置しました。 測定データや水槽の様子は、 GENNECT Cloudからいつでも 確認することができます。

ナビリティ実現による人類と地球への大きな貢献につなが る」という認識のもと、アマモの育苗を通じて環境教育と 電気計測の学びの機会を提供します。

本コンソーシアムの目指す「将来を担う人材の育成がサステ

参照:「学びのコンソーシアム・海の森プロジェクト」を開始 https://www.hioki.co.jp/jp/information/detail/?id=2820

■お問い合わせ先

日置電機株式会社 計測ラボラトリー長付 堀田 Mail: hotta@hioki.co.jp

